



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)1995  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,181	0.5	784	70.2	862	84.8	767	107.4
2020年3月期第1四半期	5,155	10.2	461	△14.6	467	△18.7	369	30.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 767百万円 (215.2%) 2020年3月期第1四半期 243百万円 (△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	24.88	24.73
2020年3月期第1四半期	12.00	11.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	56,396	32,860	56.9
2020年3月期	47,775	32,579	66.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 32,088百万円 2020年3月期 31,806百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,400	28.2	3,600	260.6	3,600	266.9	2,900	214.2	94.07
通期	27,200	9.8	6,000	84.9	6,000	82.2	4,800	79.2	155.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	32,421,577株	2020年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,588,196株	2020年3月期	1,592,259株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	30,831,215株	2020年3月期1Q	30,802,499株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当期の経営成績

売上高は51億81百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

2020年4月に薬価改定がありましたが、主力製品の販売数量が増加することにより、増収となりました。

営業利益は7億84百万円（前年同期比70.2%増）、経常利益は8億62百万円（前年同期比84.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億67百万円（前年同期比107.4%増）となり、いずれも増益となりました。

研究開発費は前年同期比11.4%減少し、11億33百万円（前年同期比1億45百万円減）となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	5,155	5,181	0.5
営業利益	461	784	70.2
経常利益	467	862	84.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	369	767	107.4

## ②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト®	3,143	3,302	5.1
再生医療等製品 テムセル®HS注	712	235	△66.9
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	1,193	1,508	26.4
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	1,193	903	△24.3
	—	604	—
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	65	112	71.3
契約金収入	2	10	354.5

(注) 持続型腎性貧血治療薬「ダルベポエチンアルファBS注JCR」を2019年11月より発売した影響で、短期型腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」の売上が減少しました。

## ③研究開発の状況

## [ライソゾーム病治療薬]

- 現在重点的に取り組んでいるライソゾーム病治療薬の開発では、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した新薬の開発を行っております。
- 血液脳関門通過型ハンター症候群治療薬（開発番号：JR-141）については、2018年6月よりブラジル連邦共和国で臨床第2相試験、2018年8月から日本で臨床第3相試験をそれぞれ開始いたしました。その他の地域では2018年10月に米国食品医薬局（FDA）、2019年2月に欧州医薬品庁（EMA）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受ける等、グローバル展開の準備を進めております。
- その他のJ-Brain Cargo®を適用したライソゾーム病治療薬（ポンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、ハーラー症候群治療薬（開発番号：JR-171）、サンフィリップ症候群A型治療薬（開発番号：JR-441）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、サンフィリップ症候群B型治療薬（開発番号：JR-446）についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。

[再生医療等製品]

- ・2019年7月から新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）への「テムセル®HS注」の新たな適応拡大として臨床第1/2相試験を開始しております。
- ・「テムセル®HS注」の皮下投与による表皮水疱症に対する適応拡大（開発番号：JR-031EB）について、厚生労働省への承認申請を行い、当局と協議を重ねてまいりましたが、同適応症に対する有効性をより明確に示す必要があると判断し、2019年9月に本承認申請を取り下げました。今後の開発方針については、現在検討しております。
- ・他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）については、2019年2月より臨床第1/2相試験を開始しております。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・2018年7月から「グロウジェクト®」の効能追加としてSHOX異常症に対する臨床第3相試験を開始しております。
- ・2019年5月からは遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第1相試験を開始しております。

[腎性貧血治療薬]

- ・持続型赤血球造血刺激因子製剤「ダルベポエチンアルファBS注JCR」の製造販売承認を2019年9月に取得し、同年11月に発売いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は563億96百万円（前連結会計年度末比86億20百万円増）、負債合計は235億35百万円（前連結会計年度末比83億39百万円増）、純資産合計は328億60百万円（前連結会計年度末比2億80百万円増）となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金および有価証券が減少した一方で、現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ59億88百万円増加して343億31百万円となりました。固定資産につきましては、米国ArmaGen社を買収したことにより特許権を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26億31百万円増加して220億64百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ84億39百万円増加して188億74百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億円減少して46億61百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払があった一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ2億80百万円増加して328億60百万円となりました。

これらの結果、第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ9.7ポイント低下して56.9%となりました。

現時点では当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、2020年4月および5月に総額150億円のコミットメントライン契約を締結しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収増益となり、期初予想通りの傾向であり、2021年3月期の業績予想に関しましては、2020年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,973	17,456
受取手形及び売掛金	7,977	6,362
有価証券	220	217
商品及び製品	880	1,055
仕掛品	2,929	3,533
原材料及び貯蔵品	5,046	5,258
その他	315	447
流動資産合計	28,342	34,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,115	5,014
土地	5,664	5,664
建設仮勘定	2,283	2,361
その他(純額)	1,811	1,641
有形固定資産合計	14,875	14,682
無形固定資産		
特許権	—	3,217
その他	263	257
無形固定資産合計	263	3,474
投資その他の資産		
投資有価証券	2,408	2,422
その他	1,909	1,488
貸倒引当金	△23	△4
投資その他の資産合計	4,294	3,907
固定資産合計	19,433	22,064
資産合計	47,775	56,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	679	1,470
短期借入金	4,880	13,700
未払法人税等	534	317
賞与引当金	713	1,133
役員賞与引当金	77	93
その他	3,549	2,159
流動負債合計	10,434	18,874
固定負債		
長期借入金	3,800	3,700
債務保証損失引当金	108	101
退職給付に係る負債	730	736
その他	122	123
固定負債合計	4,761	4,661
負債合計	15,195	23,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,891	10,893
利益剰余金	15,039	15,310
自己株式	△3,865	△3,856
株主資本合計	31,127	31,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583	585
為替換算調整勘定	134	126
退職給付に係る調整累計額	△39	△33
その他の包括利益累計額合計	679	678
新株予約権	584	581
非支配株主持分	189	191
純資産合計	32,579	32,860
負債純資産合計	47,775	56,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,155	5,181
売上原価	1,607	1,532
売上総利益	3,548	3,648
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	3,087	2,864
営業利益	461	784
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	12	11
為替差益	—	64
その他	4	14
営業外収益合計	20	92
営業外費用		
支払利息	5	8
支払手数料	—	4
為替差損	7	—
その他	1	1
営業外費用合計	13	14
経常利益	467	862
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	9	6
貸倒引当金戻入額	—	19
特別利益合計	9	25
特別損失		
固定資産処分損	—	3
その他	0	—
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	476	885
法人税、住民税及び事業税	191	206
法人税等調整額	△85	△91
法人税等合計	106	115
四半期純利益	370	770
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	369	767



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	370	770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	1
為替換算調整勘定	8	△9
退職給付に係る調整額	43	5
その他の包括利益合計	△126	△2
四半期包括利益	243	767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	766
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(ArmaGen社買収による特許権の取得)

当社は、2020年2月27日開催の取締役会において、ArmaGen, Inc. を買収することを決議し、同4月10日付で買収が完了いたしました。当該買収は、ArmaGen社が有する血液脳関門（以下BBB）通過技術の知的財産権を含む技術的資産を取得することで、当社の技術的優位性を確実にするために買収を行ったものであり、資産の取得として会計処理を行っております。

## 1. ArmaGen社株式取得の概要

## (1) 株式取得の概要

## ①株式取得の相手会社の名称、事業の内容、規模

被取得企業の名称 ArmaGen, Inc. (以下「ArmaGen社」)

所在地 米国カリフォルニア州 サンディエゴ

事業の内容 BBB通過技術（基盤技術）を基に、各種ムコ多糖症及びその他ライソゾーム病を適応とする新薬の自社開発及び他社との共同開発

規模 資本金 41千USドル（2019年12月期末日現在）

総資産 1,244千USドル（同上）

## ②株式取得の目的

現在、当社は独自技術であるBBB通過技術（J-Brain Cargo®）を用いて、ライソゾーム病治療薬の開発に注力しております。一方、ArmaGen社は同社独自のBBB通過技術を用いた新薬の研究開発を行っており、ライソゾーム病を含む疾患に広く適応可能な知的財産権を、米国をはじめとするグローバルの主要地域で出願および取得しております。

当社は、グローバル市場におけるライソゾーム病治療薬の開発を行うにあたり、その戦略について長期に検討を重ねた結果、ArmaGen社が有するBBB通過技術の知的財産権を含む技術的資産を取得することで、当社の技術的優位性を確実にすることができると判断いたしました。

## ③株式取得の時期

2020年4月10日

## ④取得する株式の数、取得後の持分比率

取得する株式の数 100株（注）

取得後の持分比率 100%

（注）当社の全額出資による特定目的会社を子会社として設立し、その子会社とArmaGen社を合併（キャッシュアウト・マージャー）させ、存続会社をArmaGen社とする方法により、当社は合併後のArmaGen社の株式100株を保有しております。

## (2) 被取得企業の取得価額

取得価額につきましては、外部専門家による株式価値の算定結果を踏まえ、双方協議の上、妥当な金額で決定しておりますが、当事者間の合意により、取得価額等については非開示とさせていただきます。

## (3) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金によっております。

## 2. 特許権の取得（取得原価、償却方法及び償却期間）

特許権の取得原価	29,858千米ドル (3,287百万円)
償却方法	均等償却
加重平均償却期間	11.88年

